

Vol.19(2021) No.03(03/04)L06

COVID-19 小児患者におけるレムデシビルの人道的使用

[Compassionate use of remdesivir in children with COVID-19](#)

Méndez-Echevarría A, Pérez-Martínez A, Gonzalez Del Valle L, et al.

【Eur J Pediatr. 2020 Nov 16:1-6】-peer reviewed(査読済み)

(要旨)

◇背景

小児患者は、COVID-19全症例の中では少数であるものの、重症例や死亡例が報告されている。レムデシビル(RDV)は最近、成人のCOVID-19患者で有望な結果を示したが、今日まで小児データはほとんど報告されていない。

◇方法

スペインでRDVによる人道的治療を受けているSARS-CoV-2感染が確定した小児を対象に、全国規模の多施設共同観察研究が実施された。研究には、乳児4例と年長児4例の計8例の患者が参加した(年齢中央値5歳; IQR[4カ月~11.6歳])。半数は複数の基礎疾患を有しており、残り半数のほとんど(3/4)は乳児であった。小児8例のうち6例で小児集中治療室への入院を要した。RDV関連の有害転帰は観察されなかった。7例では臨床転帰は良好であったが、重篤な臨床状態であった患者1例が合併症(細菌性敗血症)のため死亡した。しかしこの患者は、COVID-19発症後かなりの期間を経過してからRDV投与を受けていた。

◇結論

今回のコホートでは、ほとんどの患者で有害事象が観察されることなく、良好な臨床転帰が示された。重症例では有効な治療法となる可能性があることから、COVID-19の小児を対象とした臨床試験が、小児におけるRDVの安全性、忍容性、有効性、および薬物動態を評価するために喫緊に必要である。